

< その他、取組に特徴のある事例 >

過疎に負けない明るい集落づくりを目指して

1. 集落協定の概要

市町村・協定名	青森県平川市 <small>ひらかわし</small> 小国中山間地組合 <small>おくにちゅうさんかんちくみあい</small>			
協定面積 47ha	田 (97%) 水稲	畑 (3%) 野菜	草地	採草放牧地
交付金額 956万円	個人配分			50 %
	共同取組活動 (50%)	担当者活動経費	体制整備に関する活動経費	3 %
		鳥獣害防止対策及び水路・農道等の維持管理等経費	農用地維持管理活動経費	5 %
		農用地維持管理活動経費	交付金の積立・繰越	5 %
協定参加者	農業者 47人 (うち集落外8人)、非農業者 1人			

2. 取組に至る経緯

当集落は十和田湖西側の山間部に位置し、自然豊かな土地であるが、弘前市及び黒石市の通勤圏内であることから、非農家や兼業農家の割合が増加し、若い人たちが職を求めて都市部へ流出していることもあって高齢化が進んでいた。

そのため、集落及び集落出身者が一丸となり、集落の担い手を中心に農地の保全整備を推進し、将来に引き継ぐこととした。

3. 取組の内容

市内小・中学校及び弘前大学の学生サークルと連携し、運動会、文化祭、餅つき大会等の各種イベントを行う、集落内の温泉保養施設の外壁を塗装する、集落内にある老人会と連携し、国道沿いの休耕田にコスモスを植え付け、秋にはコスモスが咲き誇り、通行人の目を楽しませるなど、集落の活性化や団結力の向上を図っている。

そのほか、高齢化による担い手不足と耕作放棄地の解消に向け、担い手の育成も急務であることから認定農業者を4名確保したほか、平成20年には農産物直売所の運営を開始し、土、日、祝日のみの営業となっているものの、新鮮な農産物が購入できることから、観光客等に人気となっている。



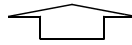
集落協定で運営している直売所



協定活動により塗装された保養施設

[集落の将来像]

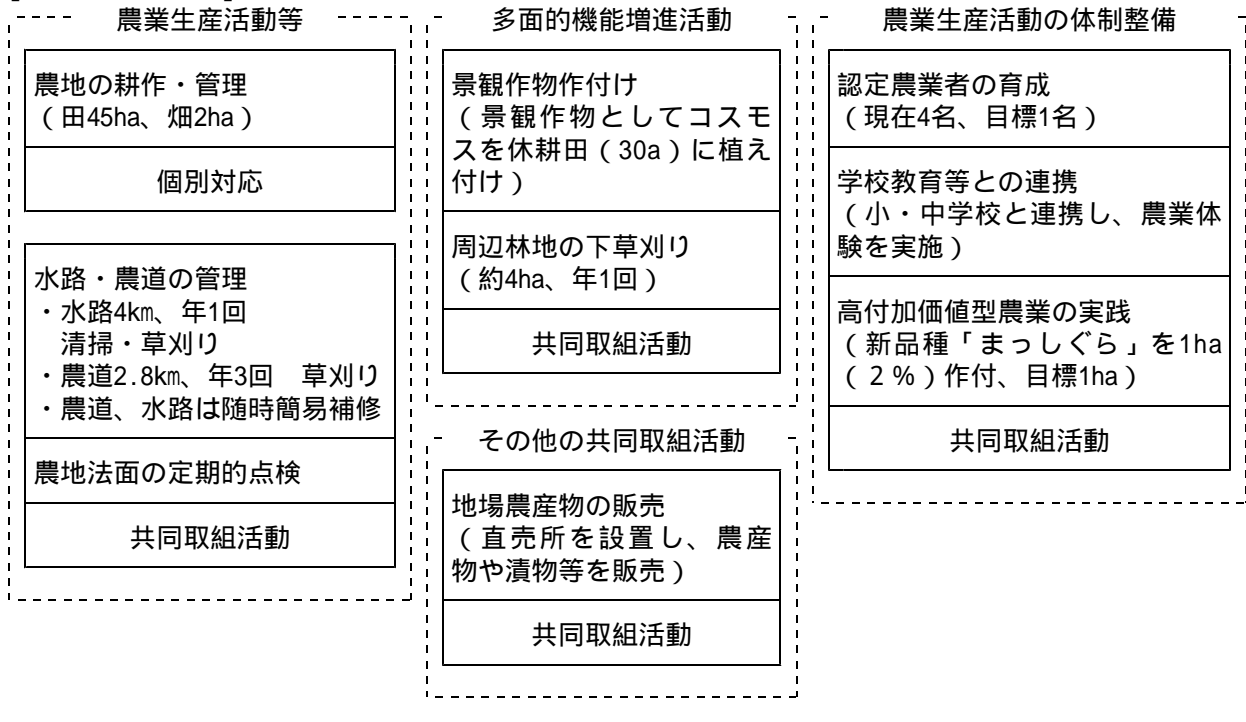
当集落の担い手を中心に、耕作放棄地防止活動を継続するとともに、定年後や高齢者の生きがいをづくりのためにも農地の保全整備を推進するとしている。また、意欲ある農業者を確保し、地域農業の維持・発展に努めるとともに景観作物を作付けし、明るい集落づくりを目指すとしている。



[将来像を実現するための活動目標]

耕作放棄防止のため集落内の担い手に作業受託を行う
水路・農道管理等、耕作放棄防止の共同取組活動を班編制により実施
フラワー運動（景観作物としてコスモス植え付け）の継続

[活 動 内 容]



集落外との連携

弘前大学の学生サークルと連携し、集落の運動会、文化祭及び小国小・中学校の学校田で収穫された餅米を使用して餅つき大会を開催するほか、集落内の保養所外壁の塗装作業を実施した。

4 . 取組による変化と今後の課題等

協定で国道沿いに設置している直売所については、同線が十和田湖への観光ルートであることから利用者も多く、売り上げは堅調に推移している。一方で、忙しいゆえに人員の配置が大変となっており、いかに人員を回転させるかが課題となっている。

[平成21年度までの主な成果]

担い手の確保のため、認定農業者の育成(当初0名、目標1名、H21実績4名)
水路・農道の整備
・農道のコンクリートによる補修整備(H21実績90m)、水路のU字溝による補修整備(H21実績70m)
直売所の運営
・国道沿いに農産物直売所を設置し、集落で収穫された農産物、漬物等加工品を販売